

大問Ⅰ

問題文にある、社会や国家の「テューモス」の意味を理解しているかどうかの読解力、および、そのうえで、日本政府または日本の民間組織を主体として行われる国際交流・対外発信にどのような承認要求が潜んでいるのかを客観的に説明する能力をみる。単に、日本料理や「おもてなし」、あるいは伝統的な祭りなどの事例を挙げるだけでなく、日本のどのような主体が、どのような意図で対外発信を行おうとしているのかを端的にまとめられているかどうかを採点基準とした。

大問Ⅱ

[問1] 我々が文化的な他者にいとも簡単に自らの“norm”を押し付けてしまう理由を、本文の内容に即して200字以内で記述しなさい。

[解答例]

我々は、子供の頃に周りの人々の言葉や行動の観察を通して、行動の規範を身につける。そして、取り入れられた規範は、時間が経過するとともに無意識的になって、我々は本能的にそれに従って行動することになり、さらに自分の中に規範が存在することすら忘れてしまう。このように行動規範は意識されないものであるために、我々はそれを知らず知らずのうちに自分とは違う行動規範をもった文化的な他者に押し付けてしまうのである。(199文字)

[問2] 本文の内容をもとに、異文化コミュニケーションにおいて“norm”をめぐる生じうる問題とその解決の方法について、300字以内で記述しなさい。

出題意図：

文化に関する英語の文章を読み、その内容をもとに独創的な発想をして、具体的かつ論理的な思考を行い、これを適切な文章で提示できるかを判断するために、以下の基準で採点を行う。

- ① 本文の内容を理解しているか（特に、文化的条件付けの過程のあり方、文化によって“norm”が異なるために問題が生じうること等）。
- ② “norm”をめぐる生じうる問題を具体的かつ論理的な文章で提示しているか。
- ③ ②の問題に対する解決法を具体的かつ論理的な文章で提示しているか。
- ④ 議論の内容に独創性が認められるか。